

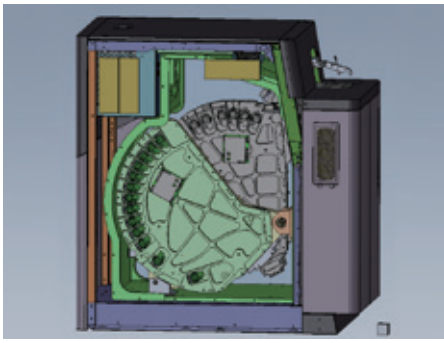


SPECTROLAB®

据置型固体金属発光分光分析装置

SPECTROLAB® は従来の PMT/CCD 検出器から極めて低濃度を測定可能な CMOS 検出器を搭載したハイエンド固体金属発光分光分析装置です。発光分光分析のリーディングカンパニーとして 40 年間培った技術の集大成です。

- 高解像度 CMOS 検出器を搭載した新設計の分光器
UV 光学系では 120nm ~ 240nm、エアー光学系では 240nm ~ 766nm の波長範囲をカバー
- PMT と比較して、簡単に測定元素が追加できるマルチマトリックスタイプ
- データ処理が格段に速くなった新しいリードアウトシステム

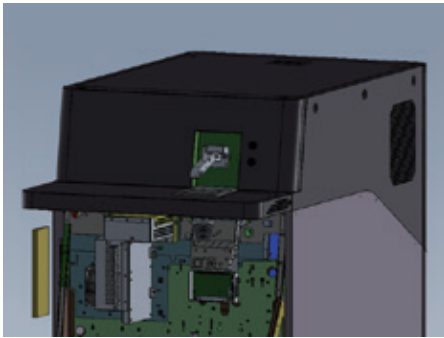


CMOS 分光器

光電子増倍管 (PMT) よりも同等以下の検出限界 (LOD s) であり、且つ高い繰返し精度を有します。

例) 鉄ベースの検出限界

Line	LAVM12 (PMT)	LAB S (CMOS)
Pb	3.5 ppm	1.9 ppm



新型プラズマジェネレーター

高エネルギーのプラズマジェネレーターと、点火装置による分析時間の短縮を実現しました。

例) 低合金鋼の分析時間

LAVM12 - 35 秒

LAS01 - 18 秒



スパークスタンドの改良

内部の部品を刷新することにより、装置内部の清掃管理が改善されました。

例) 低合金鋼分析の清掃頻度

LAVM12 - 800 スパーク毎

LAS01 - 6000 スパーク毎



装置本体サイズの小型化

小型化により、設置場所の選択肢が増えました。

例) 装置サイズ (H x W x L)

LAVM12 - 1405 x 770 x 1900

LAS01 - 1405 x 770 x 1380



ICAL2.0 システム

装置校正時間を大幅に短縮できる新しい校正システムです。

例) 装置校正時間

LAVM12 - 30 分

LAS01 - 5 分

分光器:

パッシェンルング・マウンティング
焦点距離750mm

ホログラフィックマスター回折格子:
3600、2400溝/mm

測定波長範囲: 120-770nm

励起システム:

完全デジタル化されたプラズマジェネレーター

最大スパーク出力: 4.0 KW

PC: Windows 10 pro

製品重量: 375 kg

製品サイズ: 高さ1405×幅770×奥行1380mm

設置環境の温度: 15°C~30°C

推奨される温度: 18°C~30°C

電源: 230V -10%+10% 50/60Hz

測定時: 1kVA

待機時: 0.5kVA

SPECTROLAB®

据置型固体金属発光分光分析装置

製品に関するお問い合わせ:

アメテック株式会社 スペクトロ事業部

東京オフィス

〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30
芝NBFタワー (1F:デモルーム 3F:オフィス)
TEL: 03-4400-2390
FAX: 03-4400-2301

大阪オフィス

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3丁目3番34号
新大阪DOIビル 5F
TEL: 06-6399-9515 (代)
FAX: 06-6399-9519

Eメール: spectro-japan.info@ametec.co.jp

www.spectro.jp